施 策 評 価 シ ー ト

1 総合計画上の位置づけ

担当課： 市民協働課

施策名	14 多様性社会（ﾀﾞｲﾊﾞｰｼﾃｨ）
政策名	「まち」を共に創る
施策がめざす将来の姿	・性別や国籍などに関わらず、多様な市民がまちづくり活動に取り組み、自分らしく豊かに暮らしています。
	0

③ 施策評価指標

成果指標名	単位	後期当初値	令和９年度目標		
各種委員会へ等への女性の登用率	%	23.3	35.0		
	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	22.4	25.5	25.8		

成果指標名	単位	後期当初値	令和９年度目標		
男女の地位が平等であると感じる割合	%	15.4	45.0		
	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	16.7	15.3	19.6		

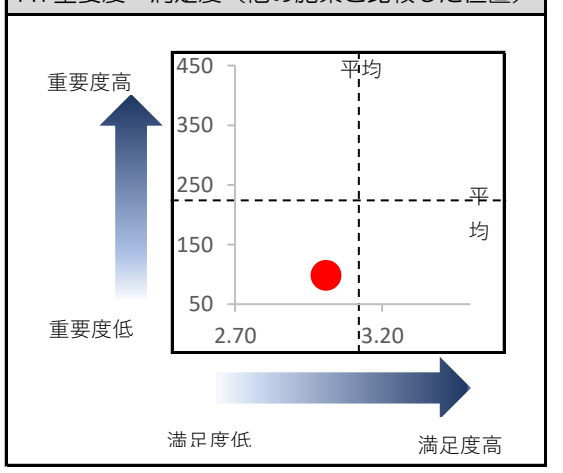
3 施策の重要度と満足度（市民アンケート調査結果）

重要度／単位（人）
令和7年度
98

満足度（満足している市民の割合）／単位（%）		
令和6年度		**令和7年度**
90.0	→	89.6

※増減（→）の基準は３ポイント以上とする

R7重要度・満足度（他の施策と比較した位置）



4 施策の課題と今後の方針

（施策評価指標等の分析のほか、今後重点化していく事務事業について、現状・課題・背景などを踏まえて記載。）

・各種委員会等への女性の登用率については目標値に達していないため、庁内部会員を通じて積極的な投用を働きかけます。
・男女の地位が平等であると感じる割合が低いため、ジェンダーに関する啓発事業を継続的に実施します。また、男性の家庭参画、事業所のワークライフバランスの推進について啓発を行います。
・国際交流については、外国人が孤立しないよう、地域コミュニティの発掘、外国人と直接つながる機会の創出を支援します。
・LGBTフレンドリー先進市として啓発を続け、当事者のための場を充実させます。

5 施策を構成する事務事業の今後の方向性

（右欄は、施策を構成する事務事業のうち、今後特に重点化するものに〇、縮小するものに△、廃止するものに▲を付す。）

事務事業①：国際交流推進事業

R7決算額（千円）	重点化(縮小)する細事業（主なもの２事業まで）	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
7,854	関市国際交流協会補助事業	↗	↗	外国人の意見を取り入れた事業や日本人と外国人が交流できる事業など、多文化共生を推進する事業の支援をします。	〇

事務事業②：男女共同参画事業

R7決算額（千円）	重点化(縮小)する細事業（主なもの２事業まで）	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
262	男女共同参画啓発事業	↘	→	固定的な性別役割分担意識を解消し、誰もが暮らしやすい関市を目指すため、ジェンダーに関する啓発を継続的に実施します。	

事務事業③：ＬＧＢＴ支援事業

R7決算額（千円）	重点化(縮小)する細事業（主なもの２事業まで）	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
540	LGBT啓発イベント	↗	↗	LGBTフレンドリー先進市として、今後も啓発と当事者のための場づくりに取り組みます。	